



月刊 おかじょうき

<http://www.okajiki.com/>

2023

10

無人駅鑑賞「カンテラ」 むさし	4
会員雑詠集「無人駅」	7
■例月句会結果■	
おかげょうき川柳社 9月例句会	17
川柳吟行会「ぼ」	24
十和田たてがみ川柳会 8月句会報	28
■連載■	
「深艘心理」 奈良一艘	23
Infomation	30～

無人駅抄

# カンテラ

あつち

先般、「北野岸柳さんのお別れ会」を「津軽弁の日の会」と合同で開催したところ、新型コロナウイルス感染が何度目かの猛威を振るっている最中でありましたが、60数名の方々にご参加いただきました。

会は、追悼句の披講があったり、在りし日の岸柳さんの写真や動画がスクリーンに映し出されたり、思い出話の紹介があったりと和やかに進み、「私もこんなふうに送ってもらいたい」と話された方もいて、やってよかったですと思っています。

みなさん、ありがとうございました。

それでは、カンテラに明かりを点しましょう。

## A群

卒寿くる白寿までへと船を漕ぐ	村上てる
今も昔も月は遠くてわがままで	城後朱美
ボクの長所往生ぎわの悪さです	瀧尻善英
目薬を何度もさして見る未来	辻井洋子
ワイシャツの胸の辺りの黒歴史	須藤しのすけ
指示どおり茹でたはずだよ女編	坂本清乃
何度輪廻しても折りかけの鶴ね	きさらぎ彼句呑
大西日 穴を掘ったら俺も行く	金瀬達雄
お腹が空いたゴスペルを口遊む	鳴海賢治
言い切って正しい位置にもどる舌	米山明日歌

## C群

無失点のエースの投げる豆大福	笹田隆志
反抗期の右手ペンギンの軍手	宮井いずみ
ひっそりとポストの中の白いヤギ	夏草ふぶき
冬虫夏草ぶっかえり夕陽のガンマン	小野五郎
目覚めたら日曜日が降っていた	奈良一艘

笹田隆志さん、「豆大福」が好きそうですね。この豆大福をキャッチしたのは隆志さん本人のような気がしますが、間違いですか？

宮井いずみさん、「反抗期の右手」というのはあちこちで見えませんが、「ペンギンの軍手」というのは見たことも聞いたこともありませぬ。この句が言わんとしているのは「反抗期の右手」Ⅱ「ペンギンの軍手」ということですよ。『ペンギンの軍手』が「反抗期の右手」だったとはなあ…。

夏草ふぶきさん「ポスト」は郵便法で規定されていて、「ポスト」の中で「ヤギ」を飼うことはできません。「ヤギ」が手紙を食べてしまったらどうするんですか(笑)

米山明日歌さん、「舌」ってそんな性質を持っていたのですか。言い足りない口の中でいつまでも踊っていることもありそうですね。食べ物や飲み物が腐っていないか監視してばかりいると思っていました。

## B群

困ったなあ素顔が映える人ばかり	葉 閑女
紙ひこうき飛ばすアドレス変えました	ひとり静
あと二杯水を飲むさびしくないように	守田啓子
真っ白な壁にぐざりと刺す涙	まきこ
冗談じゃないと言いつけた半ライス	芝岡かんえもん
遣伝子にブッキラボーがたててある	熊谷冬鼓
予約した笑顔を取りに海へ行く	柳本恵子

柳本恵子さん、「笑顔」って「予約」できるのですか。しかも「海」に。もしかしたら、山に予約するひともいそうですね。ところで、泣き顔とかしかつめ顔を予約できるところ知っていますか？



小野五郎さん、「冬虫夏草」だなんて珍しいものをご存じですね。広辞苑に「とうちゅう・かそう【冬虫夏草】昆虫の幼虫・蜘蛛などに寄生して、その体から子実体を生ずる子囊菌類。寄生された虫は冬は生きていますが、後に寄生菌が虫を殺し、初夏頃から棒状その他の子実体を形成するのが名の由来。セミタケ・クモタケなど。古来中国では、蛾類の幼虫に菌の寄生したものを乾燥して生薬とし、これを冬虫夏草と称した。漢方で強壯・鎮静・鎮咳薬。」と出てくるやつですよ。『ぶっかえり』は「孵り」の頭に強調する「ぶっ」が乗っかっている形。「夕陽のガンマン」はクリント・イーストウッド主演のマカロニウエスタンだ。要するに、「冬虫夏草」がクリント・イーストウッドに見えたんですね。いい目してますね。

奈良一艘さん、さらりとすごいことを書きますね。これは大いなる発見です。空から降るのは雨と雪と黄砂しかないと思っていた私がバカでした。ところで、「日曜日が降る」と一艘さんはどんなふうにして過ごすのですか？

おかじょうき川柳社会員雑誌集

# 無人駅

★無人駅9月月間賞

ふり向くとまた間違っ  
て動く影

柳本恵子

「チャレンジ川柳! むさし流!」のブログはこちらから

笹田隆志【ささだたかし・青森県青森市】

沈黙という商品価値のランキング  
投句する子規の句箋で甲子園  
今日も呑む聞き分けのいい缶ビール  
無失点のエースの投げる豆大福  
ワールドの忘れ物したアメフト部

号の  
先月お気に入り  
死後硬直が始まった輪ゴム  
孫の輪ゴム撃ちの的は私でした  
小野五郎

芝岡かんえもん【しばおかかんえもん・神奈川県横浜市】

さよならのエンドロールが流れだす  
味噌汁がまた慰めてくれている  
風船がふくらんでもうとめられぬ  
ミシン目がほどこけちまつているハート  
冗談じゃないと言いつつ続けた半ライス

号の  
先月お気に入り

城後朱美【じょうごあけみ・福岡県八女市】

わたくしも月も溜め息ついている  
今も昔も月は遠くてわがままで  
アナログの月が大好きなのウサギ  
小心者の月に捧げるリスベクト  
太陽も月も火星もひとりぼち

号の  
先月お気に入り  
落ちてきやしないか死にかけの夜月 夏草ふぶき  
月が落ちてきたら、両手を広げて受け止めてあげよう。

須藤しんのすけ【すとうしんのすけ・青森県弘前市】

充電繰り返し返す哲ちゃんのおちよぼ口  
ひとりでも僕は君らの夢を観る  
皆の者百鬼夜行のお通りじや  
ワイシャツの胸の辺りの黒歴史  
わたしにはいらぬものがあふれてる

号の  
先月お気に入り  
臆月晴れカネさえあれば風揚げる 笹田隆志  
梅雨の晴れ間を縫うように風を揚げるなんて粹ですね。  
カネならタンマリありますよ！

瀧尻善英【たきじりよしひで・青森県八戸市】

星と星結べば乙女座の微笑  
踏み出してみたら虹色コンサート  
油断した雑魚の尾鰭が群れている  
ボクの長所 往生ぎわの悪さです  
一線を退いて閑かな森になる

号の  
先月お気に入り  
かすむ目で雲の形を読んでいる 熊谷冬鼓  
確かに目は霞んでいますが、時局をわきまえて行動  
することが肝要ですね。

田中 薫【たなかかおる・青森県弘前市】

突然が突然に雷雨なんです  
重なる汚酒そばに雷雨納得です  
あに濁点濁点だらけコオロギ君  
医者様にとことんわたし生きてます  
黒い体だと思っていたいたいの

号の  
先月お気に入り  
雑草の居場所を広くしてあげた 熊谷冬鼓  
余裕のないわたしには、ひびくな！

旅男【たびお・青森県五所川原市】

あのそのの大事なボタンほらここの  
殺し方①アルデンテ②塩叩き  
キヲ揉んでシヲ振るジヨヲの舌拵え  
現状叫ぶ虫の声無視の声  
お願いします命を守るアルバイト

号の  
先月お気に入り  
ささやかに騙せる人が見つかった 米山明日歌  
キャラアウーマンの知人から「弱っちい男を見つけてま  
した」ってメールが来ました。おめでとつと返しました。

辻井洋子【つじいようこ・青森県青森市】

ひまわりも日傘欲しいとうなだれる  
扇風機超過勤務はいつ終わる  
愛ひとつ産んでメール送ります  
目薬を何度かさして見る未来  
朝顔の青に言われてシヤンとなる

号の  
先月お気に入り  
どの指も八方塞がりなんですの 土田雅子  
足の指も使っちゃえ。転んじゃうかな。

### 土田雅子【つちだまさこ・青森県青森市】

ねぶた日の太鼓のトドン訃報来る  
一年半前の発病知らされず  
こんなにも早いお訣れ月は歪に  
『快気祝』付けずもらった米袋  
従姉送るねぶたの笛のレクイエム

先月号のお気に入り

### 夏草ふぶき【なつくさふぶき・青森県青森市】

ひっそりとポストの中の白いヤギ  
反戦歌が響く塩辛い手紙  
便箋の虫食い穴が饒舌だ  
発芽中につき発送は後日  
速達で届いた余命三ヶ月

先月号のお気に入り

せわしく生きる俺は十六分音符 芝岡かんえもん  
♪ 十六分音符は確かにせわしなさそうだけど楽しそうにも

### ひとり静【ひとりしずか・奈良県大和郡山市】

紙ひこうき飛ばすアドレス変えました  
美しい錯覚キャラバンの駱駝  
天使かな伝言板の左端  
ブルースがいつも隣に来て座る  
ヒーローのように笑っている西瓜

先月号のお気に入り

訃が届く尾ひれ一緒に付いてくる 斎藤泰子  
尾ひれだけでしたか。背ひれも付いていたりして・・・

### ひらく【ひらく・青森県蓬田村】

おねえさんとよばれたのならふりかえる  
傘に呼ばれた人に呼ばれた雨宿り  
サンタサンへホシイモノナラタダヒトツ  
神様から箱いっぱい宿題帳  
花束から二つ選んで指定席

先月号のお気に入り

### 奈良一艘【ならいつそう・青森県弘前市】

オシボリシボツテモテヲツナイデモ  
目覚めたら日曜日が降っていた  
雲呑を啜るバナナのフリをして  
赫い絵が寝返りばかり咳ばかり  
ふきんしんな湿度をさせて熱帯夜

先月号のお気に入り

拾われるほどの骨じゃあござんせん 村井規子  
捨てられるほどの骨でもござんせん

### 鳴海賢治【なるみけんじ・青森県つがる市】

突飛な感じでしたカモメはカモメ  
お腹が空いたゴスペルを口遊む  
ブルースの女王だった鷹の爪  
新盆の桃の缶詰足二本  
長期的課題残しておきましょう

先月号のお気に入り

なむあみだなむあみだがつやみばいと むさし  
さすが、わかりやすく、おもしろい。

### まぎゃー【まぎこ・青森県青森市】

枯れる日を心待ちしている私  
過去のこと過去のことですネギ刻む  
余熱まだあつてだから食うレタス  
言い訳は曖昧模糊でいかがかな  
真っ白な壁にぐざりと刺す涙

先月号のお気に入り

終活の始まりまずは離婚する 坂本清乃  
ウフフ、思いもありませんでした。終活が楽しくなりそ  
うですね。

### まみどり【まみどり・青森県黒石市】

それなりに息をしている夏曜日  
お天気に文句をつけるぜいたくさ  
もしかして四季が三季や二季になる  
メリハリが、無くなつていく肉体美  
今さらな決心ですが何を断つ

先月号のお気に入り

ため息を幸せそうにつくんだね 吉田吹喜  
それはもう、ため息ではありませんね。

三浦蒼鬼【みうらそうき・青森県黒石市】

ブロッコリーに黒酢を掛けて脱皮する  
許容範囲を越えると海の匂いする  
扇風機から吹いてくる風他人  
最終回笑って迎えられる・・・はず  
ニンゲンのプロで秒針追いかける

先月号のお気に入り

宮井いずみ【みやいいずみ・大阪府大阪市】

ヘルプミーなのに挨拶返される  
反抗期の右手ペンギンの軍手  
ソナタまであと一段で蹴躓く  
地球さまそう一斉にふて寝して  
鉄鉦鈴けとばし弁財天にこっ

先月号のお気に入り  
雑草の居場所を広くしてあげた 熊谷冬鼓  
アスファルトをめくって雑草の居場所を作ってあげたら  
もっとういかも。

村上てる【むらかみてる・青森県青森市】

長い廊下歩いて忘れる悔い一つ  
しみじみとよく働いた十指みる  
白昼夢突然姉が逝きました  
卒寿くる白寿までへと船を漕ぐ  
寒椿あなたはどんな夢を見た

先月号のお気に入り  
針の穴から大海を狙ってる 三浦蒼鬼  
片眼をつぶって糸を通す。真に銃を構え大物を狙う真剣さがよくわかります。不可能を可能にする心意気。同感です。

守田啓子【もりたけいこ・青森県三沢市】

あと二杯水を飲むさびしくないように  
これもそう通りすがりの雨ですね  
私がどこにいるのでしょうか 晩夏  
ざわざわとなんの前触れ雨の音  
そんなことあったねという位置に海

先月号のお気に入り  
バンドエイドだけで治る心の傷 柳本恵子  
応急措置はバンドエイド。あとは時が解決。下六が効いてます。

村井規子【むらいのりこ・青森県大鰐町】

痩せたいが何を食べても美味しくくて  
没句五句酒に溶かして斬新句  
ほうれん草バターに恋しくつたくた  
神様が私を見てる今日の雨  
本音では地元以外を甲子園

先月号のお気に入り

村上あつこ【むらかみあつこ・青森県青森市】

夢の中天国行きの汽車に乗る  
戦争と異常気象の行く末は  
外は今炎熱地獄出られない  
今は雪が恋しい猛暑熱帯夜  
90の壁は越えたが認知症

先月号のお気に入り  
百均でみつけた復活の呪文 宮井いずみ  
百均で売っているのですか？私もほしい。どこの店かこっそり教えてください。

柳本恵子【やなぎもとけいこ・奈良県奈良市】

予約した笑顔を取りに海へ行く  
少額切手ばかり並んでラブレター  
笑って笑って残り時間をおんそわか  
泣けないよ短すぎるよエンドロール  
十月に生まれてしまう白い蝶

先月号のお気に入り  
一日一回の森になる時間 奈良一艘  
うらやましいです。

葉閑女【ようかんによ・青森県青森市】

秋高し暮鳥の雲と天網と  
困ったなあ素顔が映える人ばかり  
Tシャツからウルフドッグが躍り出る  
今宵こそ月のうさぎになるつもり  
焦らされて立待居待寝待月

先月号のお気に入り  
擦り剥いた膝小僧から見る明日 ひらく  
ちゃんと消毒してからね。



吉田州花【よしだしゅうか・青森県青森市】

八月はとまとで生きる生かさされる  
血管はとまと色です乙女です  
母のとまとと君のとまとはとまと色  
岩塩はヒマラヤとまとに降らす雪  
ダイヤモンドカット花火をいただくわ

先月号のお気に入り  
雑草の居場所を広くしてあげた  
熊谷冬鼓  
とは なかなか思えない。心は広いつもりなのに。

吉見恵子【よしみけいこ・青森県青森市】

ところてんエアコン一台増やそうか  
ゆらゆらと明日は見えぬ藻はゆれる  
縄文の火を焚く儀式雨乞いす  
人のせいにする雨雲注意報  
カレンダーの何もない日のキリマンジャロ

先月号のお気に入り

四ツ屋いずみ【よつやいずみ・北海道札幌市】

できそうよフィボナッチ数脳トレ  
4脚ロボットに追われてた今朝の夢  
泣き言はNOW バニラより軽いのよ  
悠然とご退場帯状疱疹  
嚙猛な夏てなづける小千谷縮

先月号のお気に入り  
待っててよ雨冠が取れるまで  
熊谷冬鼓  
見るからに雨冠は鬱陶しいですよ。今年はおちこちに  
雨冠が…

米山明日歌【よねやますか・静岡県長泉町】

夾竹桃夏の寒さを抱え込む  
言い切つて正しい位置にもどる舌  
騙すしか道のない夜虫すだく  
出口から漏れてくるのは草いきれ  
あの夜の謎とく鍵のある木陰

先月号のお気に入り  
一日一回の森になる時間  
奈良一艘  
一艘さんの森。気になります。入ったら帰ってこれますか？

安藤なみ【あんどうなみ・愛知県瀬戸市】

林間に瞬くステンレスのたまご  
くすぐつたい痒い汗かく将棋盤  
扁桃痛治まるまでのエクソダス  
炎天下重機の影でひと休み  
くるみ割り人形紙カップで届く

先月号のお気に入り  
しゃべるだけしゃべった後の注射針  
村上てる  
がまん、がまん。

岩根彰子【いわねあきこ・京都府京都市】

地球儀の頸動脈にアイスノン  
百日紅わあーと咲いて柎馬節  
ロッキングチェアはマナーモード中  
熊蟬の目ん玉蹴り上げる地球  
オイルサーディンどさどさどさと軍靴

先月号のお気に入り  
拾われるほどの骨じゃあござんせん  
村井規子  
作者の強い意思を感じます。

小野五郎【おのごろう・青森県青森市】

セルフラーニング中の冷や奴  
政局の度に顔出すにしん蕎麦  
里芋のデジタル処理を進めます  
卵かけ御飯の摩擦係数どうします  
冬虫夏草ぶつかえり夕陽のガンマン

先月号のお気に入り

金瀬達雄【かなせたつお・富山県高岡市】

権力と結び付いたら遅れて苦  
大西日穴を掘ったら俺も行く  
カラマーゾフ万歳父の反劇  
擦り寄つて来る噂の種の蒐集家  
ソファアには嗚呼と言う僕妻の留守

先月号のお気に入り  
百均でみつけた復活の呪文  
宮井いずみ  
明日行つてみます。



きさらぎ彼句吾〔きさらぎあくあ・青森県弘前市〕

何度輪廻しても折りかけの鶴ね  
調律し直そうおしやべりとハグで  
冷え冷えと北と南に割れた桃  
永い夜を黙読し飽きたか月よ  
時計くるくるこの身はずでに冬隣り

先月号の  
お気に入り

待っててよ雨冠が取れるまで  
雨冠のままですっきり日を送る…

熊谷冬鼓

坂本清乃〔さかもときよの・青森県蓬田村〕

ひと雨がほしくて蛙と歌つてる  
指示どおり茹でたはずだよ女編  
そよ風に無愛想だよ女郎花  
おまえごときにできるもんかと睨まれた  
咲き誇る向日葵達の艶やかさ

先月号の  
お気に入り

むさし〔むさし・青森県蓬田村〕

エクセルがサクサク動く花曜日  
しわ・しみ・たるみ、それってぼくのことですか  
「マカをくれ」と叫び続けるモアイ像  
命割る2足すさくらんぼ三つ  
けち偏にけち冠の男たち

熊谷冬鼓〔くまがいとうこ・青森県青森市〕

遺伝子にブツキラボーがたててある  
時として亀の子東子の心地よさ  
帳尻が合ってしまったサヨウナラ  
あれがそう別れに来たんだと 続く  
ハンカチの四隅きつちり兄が逝く

先月号の  
お気に入り

ネムリブカを再配達いたします 小野五郎  
支払方法不明で配達できないってメール来るけど。私頼  
んでませんか。

# 主語がない

9月2日(土) 午後1時～ アウガ5F小会議室

▼出席者(10名)

渡邊こあき・須藤しんのすけ・葉閑女・熊谷冬鼓・きさらぎ彼句吾・奈良一艘・原口健二・むさし・夏草ふぶき・笹田隆志

▼投句者(18名)

鳴海賢治・郷田みや・村上あつこ・まみどり・村井規子・まきこ・宮井いずみ・芝岡かんえもん・城後朱美・柳本恵子・吉松澄子・岩根彰子・米山明日歌・金瀬達雄・旅男・安藤なみ・野田啓子・坂本清乃

おかじょうき川柳社

9月例会

席題『熱』

青森県青森市 渡邊こあき選

【佳作】

平熱でいよう流星群が降る  
熊谷冬鼓

雨止んでいよいよ暑い風の盆  
葉 閑女

お互いに熱に浮かされ五十年  
原口健二

熱中症をかくし持つてる寒気団  
笹田隆志

コロナ陽性スーパームーンを仰いでる  
熊谷冬鼓

ササクレの微熱夕立ひとしきり  
奈良一艘

片隅の造花がかもし出す微熱  
夏草ふぶき

室温は零下かろうじて番

きさらぎ彼句吾

微熱まだあつて明日が呼びにくる

熊谷冬鼓

行き場のない浅瀬のウニが煮えたぎる

夏草ふぶき

【秀逸】

返信が来るたび熱が冷めてゆく  
葉 閑女

真夏日を懐に入れ備忘録  
笹田隆志

表面温度だけで分別しないでよ  
きさらぎ彼句吾

【特選】

結氷させたのは終止符のまなざし  
きさらぎ彼句吾

『冷たいまなざしが熱い恋をおわりにしたのですね。』

席題『熱』

青森県弘前市 須藤しんのすけ選

【佳作】

熱帯夜チチヲコロシテキタトコロ  
奈良一艘

結氷させたのは終止符のまなざし  
きさらぎ彼句吾

熱々の燃料棒を召し上げれ  
む さ し

室温は零下かろうじて番  
きさらぎ彼句吾

雨止んでいよいよ暑い風の盆  
葉 閑女

返信が来るたび熱が冷めてゆく  
葉 閑女

満月とまだ密通をくり返す  
奈良一艘

微熱です恋思いじゃありません

葉 閑女

コロナ陽性スーパームーンを仰いでる

熊谷冬鼓

平熱でいよう流星群が降る

熊谷冬鼓

【秀逸】

微熱ですすぐ忘れます好きなこと  
渡邊こあき

熱気球さがしものは何ですか  
渡邊こあき

微熱まだあつて明日が呼びにくる  
熊谷冬鼓

【特選】

太腿のやけどが歌う子守歌  
夏草ふぶき

『遠い昔の熱い思い出…忘れられませんね。』

宿題『浮く』

青森県逢田村 むさし選

【佳作】

浮世絵にサーフィンしてる僕が居る  
 浮いているそこが私の居場所です  
 生きてはいる当てにされずに浮いている  
 星空に浮いてる魔女の高笑い  
 アメンボになれたらさやさや葦原に  
 浮かぶ瀬を挙げてみなさい処理水よ  
 ドブ池に浮かぶ男とか女とか  
 浮玉を何個もつけて世を渡る  
 こんな日も浮き世の義理で夕焼けに  
 毛玉ができるほど浮かれすぎていた  
 半熟のまま只今浮上中  
 一度だけ5センチ浮いたことがある  
 無防備ないつもの君と宙に浮く  
 救命具付けて浮輪の中にいる

坂本清乃  
 守田啓子  
 村井規子  
 葉 閑女  
 熊谷冬鼓  
 葉 閑女  
 奈良一艘  
 渡邊こあき  
 守田啓子  
 きさらぎ彼句吾  
 郷田みや  
 熊谷冬鼓  
 須藤しのすけ  
 安藤なみ

浮き草になって岸へとたどりつく  
 海月ぶかぶか友達以上恋人未満  
 ルンバみぎびだり金魚少し浮いてくる  
 雑草の中に一輪百合の花  
 ヘルプミー神様私が見えますか  
 死んだ気になったぶかんと性加害者

【五客】

ラの音が悲鳴になって浮いている  
 味噌汁に浮いてくるのは捨て台詞  
 新しい羽を欲しがると天使たち  
 胸中にすくいきれない灰汁がある  
 喪主席に浮力失くしたしゃぼんだま

【人位】  
 浮世絵が吠える物々しい口で

【地位】  
 ハブられたようだゆらりと昼の月

【天位】  
 誰でもすか私に空気入れたのは  
 誰ですか

※ 体に空気入れられると気持ちよくなる  
 のかな…。

鳴海賢治  
 奈良一艘  
 柳本恵子  
 渡邊こあき  
 夏草ふぶき  
 守田啓子  
 郷田みや  
 米山明日歌  
 須藤しのすけ  
 渡邊こあき  
 きさらぎ彼句吾  
 奈良一艘  
 きさらぎ彼句吾  
 まみどり

宿題『区』

青森県弘前市 奈良一艘選

【佳作】

この線を越えると私セレブになるの  
 ザクザクと分け目が入っていく地球  
 生きて生きて該当なしの域にいる  
 区切っても区切ってもでる副作用  
 マンボウの貌して歩く禁漁区  
 中区栄町出張から斜陽  
 国籍の欄にくっきり地球人  
 ブランコのブラのあたりは禁猟区  
 個包装のまんまでみんな行き暮れる  
 萌えて燃えて不稔ゴミ区分気分  
 俺の場所空をなんども切り裂いて  
 これでもかかって読点打って閉じこめる  
 ため息と息継ぎ区別して見せよ  
 あきらめのいい人でした尊厳死

須藤しのすけ  
 夏草ふぶき  
 熊谷冬鼓  
 米山明日歌  
 ま き こ  
 金瀬達雄  
 村井規子  
 吉松澄子  
 きさらぎ彼句吾  
 旅 男  
 芝岡かんえもん  
 きさらぎ彼句吾  
 ま き こ  
 まみどり

【五客】

「千代田区に行きます」ALPS降水隊  
 3区から垂れてきたのはエスカルゴ  
 目黒区のカリモノつたたぶん鯨  
 止め石は取りつく島も無いピシヤリ  
 プリゴジンとOSO18の潜む穴  
 カウカウや足組み替える禁猟区

【人位】  
 四畳半の埋蔵文化財包蔵地  
 ここからはササクレだった区域です  
 区別するクレヨンのカラダの白  
 ショリスイって言ってよ海になるんだから  
 太股の上の線状降水帯

【地位】  
 暗闇と闇とを区分する椿

【天位】  
 顔面区左鼻穴3丁目

星空は保護区おやすみなさいませ

※ ぐっすり眠れそうな保護区です。

旅 男  
 岩根彰子  
 安藤なみ  
 きさらぎ彼句吾  
 む さ し  
 岩根彰子  
 守田啓子  
 米山明日歌  
 郷田みや  
 守田啓子  
 む さ し  
 米山明日歌  
 む さ し  
 吉松澄子



# 宿題 『自由詠』

青森県弘前市 きさらぎ彼句吾選

## 【佳作】

長月の沼に沈んだままの秋 守田啓子  
 カレーが食えないブルース的過ぎて 奈良一艘  
 虫時雨おひとりさまのロゼワイン 葉 閑女  
 過ちの炎に雨が降りそそぐ 夏草ふぶき  
 カラスかあ結婚するかわからない 鳴海賢治  
 不謹慎な玉子を割っているところ 奈良一艘  
 発酵済浮いた言葉をどこへ吐く 坂本清乃  
 今はただ沼の役目をはたす酒 米山明日歌  
 その節は救われました四捨五入 鳴海賢治  
 月末が重なり合って飛んでくる 郷田みや  
 ゼリービーンズを差し出す軍艦 岩根彰子  
 食後のフルーツ幸せに気づかない 城後朱美  
 ほぼホタテほぼカニだから叶わぬ恋 吉松澄子  
 埋葬の供養に貫う残暑酷暑 守田啓子

水ナスの水で今日も無事過す

柳本恵子

集中力欠けて火傷がまだ続く

坂本清乃

生きのびて水を変えよう水中花

柳本恵子

夕ぐれてやつと戻ってくる手足

米山明日歌

摩周湖に浮かべる挽歌のひとつ

宮井いずみ

百万回の「いいね」のあとの熱帯夜

む さ し

## 【五客】

雨あがるしよっぱい傘と添い寝する ま き こ  
 私を攪拌すれば夕陽の欠片 守田啓子  
 絞っても絞っても陽が起き上がる まみどり  
 傾斜して別料金のいる月夜 米山明日歌  
 いつだって腹をだしてる好奇心 芝岡かんえもん  
**【人位】**  
 葉脈が揺れる告白の時間だよ ま き こ  
**【地位】**  
 約束の手前で挫折しないでよ まみどり  
**【天位】**  
 主語がないリボン結びにいたします 郷田みや  
 ♪リボン結びって華やかだけどすぐ解けるんだだけど…

# 深艘心理

奈良一艘がとことん深読む

## 穴であるひとの形ではあるけれど

きさらぎ彼句吾

(会員雑詠集 無人駅8月号より)

初めは恋愛なんかじゃなかったのよね。世間のことなんか何にも分からないおぼこが、ただ親の勧めで嫁に来ただけなのよ。勿論それまで男の人とお付き合いたことなど全くなかったわ。真正正銘の処女ってやつ？高校なんてクソ厳しい女子高だったしね。これも自分の運命なんだと信じるしかなかったわ。でもね、あの人ったら顔は怖いのに意外とシャイで何よりも私にはとっても優しくかったの。結婚してから恋愛が始まったって感じ？うふふ。幸い子供も三人恵まれて、とっても幸せだったわ。こんな幸せが永遠にずっと続くと思ってた。あの日まではね…。まだ若かったのに、もっともっと話をして、もっともっとそばにいて守って欲しかったのに…。それからよ。胸にぽっかり空いた大きな穴を埋めるようにいろんな事に挑戦してみたの。ま、川柳もその一つなのよね。川柳ってき、色んなお題が出るんだけど、私にはあの人への想いと、それだけを考えている自分がテーマだったような気がするわ。あ、でもこ

の事は内緒だよ。誰にも言わないでね。鰻くらいはご馳走するからさ。もし誰かに話したらマジ殺すわよ。

ふむ。しかしさあ、男冥利に尽きるとか普通は喜ぶんだろーけど、こんだけ想われたら考えようによってはかなり重いよなあ。あの世でちょっとした浮気なんでも出来やしねえ。などと妄想はまだまだ膨らみそうなので、取り敢えず区切りを打とうとした矢先に、また別な妄想がムクムクと湧いてきた。ま、待てよ…あのさ、その穴ってさ、もしかししたら蟻地獄の穴なんじゃね？で、その穴の底には彼句吾ってゆー、カゲロウの幼虫に擬態した悪魔が、オトコを喰うために待ち構えているのかもしれないゾーさん。

ああ考えただけでも怖いよー。眠れないよー。とデイさんは今夜も朝まで酒を飲むしかなかったのであった。誤解を招かぬように、これは全てぢいさんの妄想による創作である事をお断りしておきます。

# 川柳吟行会「ぽ」課題『飛ぶ』

今回は「飛ぶ」という課題です。飛ぶとなれば、やはり鳥です。鳥語が話せれば飛べると信じている僕は、迷わず「空を飛ぶまでは鳥語は話さない」を特選に選びました。そんなわけで、翌朝、鳥になった夢をみました。得点の高かった句を読み、作者の意図と選評を重ね合わせて考えた時、川柳の凄さと深み、それに怖さを感じました。

見る前に飛ぶか、見て飛ばないか、そのギリギリの接点を扶えることができれば、川柳作家として一流になれるのではないかと考えました。それにつけてもあまりに凡庸な自分に呆れるばかりです。(隆志)

【10点】特 x 4・佳 x 2

空を飛ぶまでは鳥語は話さない

月波与生

【いずみ】「鳥になるまでは」ではなく、「空を飛ぶ」だから人も空を飛べることを前提にしている。そしてさえずりではなく鳥語。これぞ川柳。【州花】心意気に惚れ惚れ、こんな友人がいる。【しんのすけ】話せないのではなく話さない鳥語と、飛ぶまでの時間的縛りが魅力的。誇り高き宣言が更なる別次元へと誘う。【隆志】鳥でしか話せない、鳥語を知っていれば、きつと飛べるのだ、と思いました。鳥になりたい私。【善江】そうですね。それまでは、「鳥語」は封印しておきましょう。【吉見恵子】密やかな一大決心を感じた。「鳥語」がいい。

【6点】特 x 2・佳 x 2

飛べないと飛ばないにある深い溝

熊谷冬鼓

【こあき】飛べるのに飛ばなかった日、飛べないのに飛ばうともがいた日。下5はもう少し軽くても。【規子】飛べないと飛ばないまさに私に突き刺さる一句。若い頃

ブルタブのプシュツ 気持ちだけでも飛ぶ

笹田かなえ

から私はそんな瞬間にいったい何度揺れて思いきった決断が出来ずに来たことか。悔やんでもくやみ切れない。【柳本恵子】心の葛藤を感じました。【ふぶき】自分の意思があるか無いかで大きく違う意味、それが深い溝だという表現がいいですね。

【5点】特 x 2・佳 x 1

青空がそろそろ落ちてこいと云う

金瀬達雄

【まあこ】飛んでるのは何？誰？しかも青空から落ちてこいと云われるなんて何処を飛んでる？憎たらしい程面白い【五郎】飛び抜けた発想【いずみ】「飛ぶ」ことを「空に落ちる」という逆転が面白い。

【5点】特 x 1・佳 x 3

お別れの始まりがあり飛天の間

笹田かなえ

【達雄】姉の結婚式は氷の彫刻の白鳥が飾られて、まさしく飛天の間だった。句の通りだなあ。無常だなあ。合掌。【啓子】出会いはお別れの始まり・・・でしょう。つらいことだけど。【ふぶき】飛天の間でホテルの式場を思い浮かべ、結婚ってそういうものだなと納得しました。【文音】人生の縮図のような飛天の間を思いました。

【5点】佳 x 5

飛べなくなつたので森のくまをやる

小野五郎

【啓子】「何かする」姿勢が大切。にしても森のくまって？ひらがな表記が意味深。【達雄】句意はよく分からないが、森のくまも大変なので覚悟を感じる【彰子】くまになりきれでなかったのだ。【冬鼓】なるじやなくてやるんですね？学芸会の役みたいで愉快。【しんのすけ】選択肢に森のくまさんがあるとメルヘン。

【4点】特 x 2

浪が跳ぶ とどかぬ空にふれたくて

高木まあこ

【啓子】浪にとって空はあこがれ。私にも手の届かないあこがれの先輩がいた。うまい！！【ふぶき】浪はどんなに大きくなっても空には届かないけれど、届かないも

のに憧れるという気持ちはずっと持っていたと思っただけだ。

【4点】特×1・佳×2

ほたる追うポニーテールの赤いシユシユ 須藤しんのすけ

【吉見恵子】 追憶の句とみた。「赤いシユシユ」のポニーテールは自分でしようか。情緒的な句。【こあき】 夕闇に飛ぶほたる。赤いシユシユの少女。リボンじゃなくシユシユなのがいい。【文音】 はつきりとした映像となって浮かんでいきます。

真夜中のネイル痛いの飛んでいけ 宮井いずみ

【与生】 ネイルをしながら考えるさまざまな感傷が「痛いの飛んでいけ」に集約されていて切なくて哀しみも感じられて好き。【かなえ】 真夜中のネイルが効果的。「痛み」が伝わってくる。【しんのすけ】 恋の句っていいなあ、明日から頑張れそう！

飛魚は青が空だと信じてる 月波与生

【柳本恵子】 いつも自分のことで精一杯だけど、もっともっと世界は広いんだよなあ。【朱美】 信じることは、素晴らしい。素直に信じよう。【まあこ】 青が空 が素敵！ 飛魚がダイヴする爽やかな夏空。

【2点】特×1

カマドウマ「はだしのゲン」を飛び越える 滋野さち

【冬鼓】 原爆体験の「はだしのゲン」が教科書から削除されると聞いた。平和を違う形で伝えるということか。飛び越えたカマドウマにも時代感。

決めたと言えたら一緒に飛べたのに 柳本恵子

【さち】 あの時、心を決めてひとこと言えばよかった。今は今を精一杯生きましよう。

夏バテで低空飛行の竹トンボ 夏草ふぶき

【朱美】 低空飛行でもちゃんと飛んでる竹トンボは、私かも。現状維持は難しい。とりあえず、筋トレ継続！

【2点】佳×2

一週間ギリギリですパリへ飛ぶ 吉田州花

【吉見恵子】 キリギリスは芸術家。だから、芸術の都「パリ」へ行くのですね。【冬鼓】 遊び惚けたい思いをキリギリスで表現。旅気分は一気にパリへ。

眼底を焼き尽くす八月の蝉 小野五郎

【善江】 凄まじい戦争体験に蝉も生き残れなかったのだと思います。【さち】 日本の八月はまだ焼ついています。

【3点】特×1・佳作×1

黄昏の破けた空を飛びまくれ 守田啓子

【かなえ】 スケールの大きさに惹かれた。黄昏の不穏な空の様子に作中主体の現在地を重ねていると読んだ。【五郎】 パワーとスピード感。

天ぷらの油が下手くそつて飛ぶ 村井規子

【彰子】 天ぷらを揚げて揚げ油が二の腕に飛び跳ねた経験はアルアルだとう。『下手くそ』つて飛んでいるとは知らなんだ。【かなえ】 実体験かな（笑）。すかさず川柳にしたところがお見事。

飛んでった靴のことなどヒガンバナ 滋野さち

【文音】 上手いなあ。切ないなあ、好きだなあ。特選【州花】 彼岸花が好き。飛んでった靴も好き。飛んでった靴のその後が気にかかる。

【3点】佳×3

夏旅は延期ギシギシの種が飛ぶ 宮井いずみ

【与生】 天候や体調の変化で延期になりやすい夏旅。ギシギシに具象と擬音の両方の効果が効いている。【州花】 夏の旅はもう無理かもしれない。羊蹄（ギシギシ）は今年も元気だ。【さち】 酷暑・コロナ、ギシギシの根は手強いです。

冷蔵庫に飛び込み氷わしづかみ 笹田隆志

【彰子】 猛暑に閉口。まずは氷をわしづかむ。【規子】 今年の夏は何度そんな風に思う日がまだ続きそう。

ちんどん屋が飛ばすハバネロ豆板醤 岩根彰子

【いずみ】 激辛を振りまいているちんどん屋というナンセンスが癖になる味だ。【隆志】 ハバネロの豆板醤を飛ばすチンドン屋とはおもしろい。

おーい妻君はいつまで飛ぶつもり 城後朱美

【こあき】 おおらかなご主人で奥様は幸せですね。【隆志】 私の細君はいつまで飛ばないつもりかしら。

【1点】佳×1

天敵とカフェに行きたいオニヤンマ 夏草ふぶき

夏だもの列を飛び出しもう影絵 小野善江

今日だけを鳥も射手座も飛んでいる 吉田州花

緊急移送丸ごと消える永田町 笹田隆志



# 十和田たてがみ川柳会八月句会

○日時 8月19日(土)

○会場 十和田労働福祉会館

○参加者 木村奈生美・久保あざみ・斉藤蛙井・佐藤まさあき・瀧尻善英・福田芳記・村上昌子・高田幸柳  
○投句者 磯島雅男・城後朱美

■席題 『値段』 福田 芳記 選

【平抜き】

食品の値上げラッシュも鈍感に  
トントんと西瓜に聞いて値段みする  
手作りで支出押さえる生きる知恵  
安売りへ一度に集う主婦の顔  
主婦の知恵今朝のチラシを見比べる  
時価表示 値段があつて無い高値  
万札と出番揉めてるカードたち  
禁煙の勧め戦へ値を上げる

【秀逸】  
値段ほど効かぬ養毛剤を買う  
老うほどに妻の値段が高く見え

高田 幸柳  
村上 昌子  
木村奈生美  
木村奈生美  
佐藤まさあき  
瀧尻 善英  
齊藤 蛙井  
村上 昌子  
瀧尻 善英  
齊藤 蛙井

【特選】  
買う気など無いが値段は聞いてみる  
瀧尻 善英

■席題 『値段』 瀧尻 善英 選

【平抜き】

老うほどに妻の値段が高く見え  
値段には目をつけなくて買いたがる  
手作りで支出押さえる生きる知恵  
価値観は無視の炎が山舐める  
値札にはとても手の出ぬ数値あり  
タワマンの値段に溜息つくばかり  
食品の値上げラッシュも鈍感に  
安売りへ一度に集う主婦の顔

【秀逸】  
初競りのご祝儀相場手締めする  
主婦の知恵今朝のチラシを見比べる  
【特選】  
トントんと西瓜に聞いて値段みする  
村上 昌子

■宿題 『熱中症』 高田 幸柳 選

【平抜き】

還暦は日陰が好きになりました  
アスファルトジャングル既に熱中症  
今日もまた警戒アラート出る暑さ

久保あざみ  
磯島 雅男  
佐藤まさあき

ヒト科しか出来ぬ熱中症予防  
夏祭り酒より水を推してやり  
電気代惜しまないでと我が命  
熱中症コロナも乗せて救急車  
熱中症刺されるような白い夏  
電気代ケチって招く熱中症  
根性も令和の熱中症に負け  
悔るな睡眠中の熱中症

【秀逸】  
節電と熱中症のヤジロベエ  
熱中症予防に胡瓜欠かせない

【特選】  
熱中症 脳の回路が惚けてくる  
瀧尻 善英

■宿題 『猫』 木村奈生美 選

【平抜き】

コロナにも負けぬ縁起の招き猫  
飼い主もゴロゴロ音でリラククス  
老い一人膝に愛猫毛繕い  
お転婆が猫かぶつてる見合い席  
猫の手も借りたい被災地の救護  
タマ達がじつと外見て夏ごもり  
猫の爪切り思い切り戯れる  
猫かぶり上手に乗った玉の輿

瀧尻 善英  
福田 芳記  
齊藤 蛙井  
佐藤まさあき  
瀧尻 善英  
村上 昌子  
磯島 雅男  
瀧尻 善英

親のエゴ猫かわいがり過保護の子  
忍者でも猫には勝てぬ忍び足  
家出した猫堂々と帰宅する

【秀逸】  
猫かぶる半日持たぬ酒の口  
野良猫は野良猫らしく生きている

【特選】  
猫逝つておひとり様の喪失感  
佐藤まさあき

■宿題 『ねちねち』 互選

【平抜き】

①いつまでもねちねち態度一喝す  
①押し売りのしつこさへ引く太い線  
①ねちっこい赤鬼が棲みオラになる  
③同じことわざと何度も聞く上司  
④ねちっこい上司へ回避する笑顔  
⑥指一つ殺すねちねちネット欄

佐藤まさあき  
木村奈生美  
村上 昌子  
高田 幸柳  
瀧尻 善英  
磯島 雅男

## ◆十和田たてがみ川柳会十月句会案内◆

【時】10月21日(土)午前10時から【所】十和田労働福祉会館【宿題】(各題三句詠)『反抗期』佐藤まさあき選／『バランス』村上昌子選【互選】(一句詠)『外す』当日出席者のみ(句せんの裏に柳号記入)【席題】一題(三句詠共選)／選者は、瀧尻善英ほか出席者から一名【投句先】〒034-0212 十和田市米田字桜平72 高田幸柳宛

城県)・出席者共選/『What』妹尾凜(秋田県)・出席者共選/『こう』野沢省悟(青森県)・出席者共選\*題は漢字、カナ捉え方自由/『晴』樋口由紀子(兵庫県)・出席者共選【席題】(印象吟)2句詠出席者・出席者共選【幹事】野沢省悟・樋口由紀子・広瀬ちえみ

□ **2023.11.12 黒石川柳大会**

日時:2023/11/12(日)10時受付開始(席題発表) 場所:スポカルイン黒石2F大会議室(電話0172-53-8111)(ユンバース黒石駅前店隣) 会費:2,000円(発表誌・お茶)弁当はありません、昼食は各自でお願いします。◆事前投句「龍」(1句詠・欠席投句拝辞)全員選10月30日(月)消印有効・清記して全員選 ◆宿題(2句詠)「炎」千島鉄男選/宿題「ピッタリ」沢田百合子選/宿題「帽子」むさし選 ◆席題(2句詠)「 」2人共選・選者当日発表 宿題、席題の投句締切り:11時30分 \*開会までの間に各自で昼食をとって下さるようお願いいたします!開会は12時40分(懇親会はありませんのでご了承ください) ◆問い合わせと事前投句のあて先 黒石川柳社 三浦蒼鬼 〒036-0533 黒石市二双子字十川46-2 携帯090-7933-6064

句会、大会、誌上句会などの情報をお寄せください。

info@okajoki.com

※メール本文にベタ打ちでも構いません。

テキストデータで送っていただくと助かります。

□ **2023.10.22 第77回青森県川柳大会**

日時 10月22日(日)午前10時から/会場 東奥日報新町ビル3階 New'sホール(青森市新町2丁目/会費 3千円(昼食代含む)、高校生以下無料(昼食付き)/特別選「軽」(1人2句)芳賀博子選/宿題 各題1人2句/「迷う」三浦蒼鬼、野沢省悟の2氏共同選/「ショック」笹田かなえ、千島鉄男の2氏共同選/「むずむず」熊谷冬鼓、田鎖晴天の2氏共同選/「待つ」むさし、田沢恒坊の2氏共同選/◇投稿 作品は全て未発表に限ります。応募用紙は8月16日正午から、東奥日報文化財団ホームページからダウンロードできます。または、ハガキ大の紙5枚を使用し、それぞれの用紙の右上に特別選、宿題と朱書きした上で、各題2句ずつ必ず楷書で書いてください。新旧仮名遣いは問いません。いずれか1枚の裏面に郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、生年月日、電話番号を明記(学生の場合は学校名、学年も)。大会会費(郵便小為替)を同封し、郵便番号030-0801、青森市新町2の2の11、東奥日報新町ビル2階、東奥日報文化財団「県川柳大会係」宛てにお送りください。問い合わせは同文化財団(電話017-718-5115、平日午前9時から午後5時)へ。/◇締め切り 9月19日(火)当日消印有効。直接持参する場合は午前9時から午後5時に東奥日報新町ビル2階へお越しください。(土日祝も可)/◇席題 当日2題を出題(各題1人2句)。選者は2題のうち一方が山野茶花子、佐藤ぶんじの2氏、もう一方が沢田百合子、岩崎雪洲の2氏による共同選。/◇賞 当日の出席者を対象に採点し、総合1位に県知事賞、2位に県議会議長賞、3位に県教育長賞、ほか20位までの上位入賞者に賞品を贈ります。優秀作品は東奥日報紙上と東奥日報文化財団ホームページに掲載します。※懇親会はありません。

<https://www.toonippo.co.jp/feature/z-bunka>

□ **2023.10.28 秋のブレンド句会**

【日時】2023年10月28日(土)11時30分開場/席題出句締切午後1時【会場】仙台ガーデンパレス鳳凰の間(仙台駅東口徒歩3分) Tel 022-299-6211 仙台市宮城野区榴岡4-1-5【会費】7,500円(懇親会費込み・発表誌呈)遅めのお昼になりますが、お昼の食事をしないでいらしてください。【開会】午後2時(句会終了午後5時)【事前投句】(参加者のみ)各題2句詠/投句締切り2023年9月15日必着/広瀬ちえみ迄 981-3213 仙台市泉区南中山2-7-5 Tel/Fax 022-379-4670 メールアドレス hirose-chie@jcom.home.ne.jp 投句の際は氏名ふりがな、住所、電話を明記してください。『大』広瀬ちえみ(宮

■会費拝受【8月受付分】

河野潤々（北海道）・桜田富士江（蓬田村）・笹田隆志（青森市）

■おかげょうき川柳社会員募集中！

会員ならびに当誌購読希望の方は、下記の口座までお振り込み下さい。

→郵便振替 No.02280-6-43112 口座名：おかげょうき川柳社

→会費：6,000円（1年分）

おかげょうき川柳社 お問い合わせ先

●投句以外のことについてはこちらへ●

熊谷冬鼓 toko@okajoki.com FAX.017-752-3759

（〒039-3502 青森市久栗坂字浜田 87-2）

終着駅 Sin

◆最近、Youtubeで多くの落語動画を楽しめるようになった。同じ演目でも、演者によって雰囲気ガラッと変わるのも魅力の一つだろう。たまに青森公演もあるが、一度は新宿廣末亭のような寄席へ気軽に行ってみたいものだ◆落語のおすすめ動画一覧の中でも、最近、真打ちになった人気講師・神田伯山の動画がとて人気で、その引き込まれるような話術は必見ものである。一演目で完結する落語と違い、講談は連続物が醍醐味でもある。ちなみに、講師が読む講談を速記し、活字刊行した講談本で商売していたのがいまの「講談社」である◆その連続物に関しては、講談界では流派が決まっているようで、同じ宮本武蔵伝でも、神田派の「寛永宮本武蔵伝」と田辺派の「天正宮本武蔵伝」があり内容もだいぶ違うものになっている。「伝」のつく講談とはいえ、娯楽性も強く、現在の映画やドラマのように、史実

忠実というより、楽しませるように脚色された物語になっている◆その神田伯山の「寛永宮本武蔵伝」全17話を聞いてみようと思ひ、Youtubeの字幕付きで鑑賞した。すると、登場人物に「石川軍刀斎蔵流」という評判の道場主をねたんだ熊本肥後の佐々木次郎岸柳という人物が登場する。はっきりと、「岸の柳」とセリフにもある。父・北野岸柳からは、厳しい教師だった祖父のあだ名の「佐々木蔵流先生」から受け継いだと聞かされており、「岸柳」は「川岸旅館の川柳作家」という当て字なんだろうとずっと思っていた。しかし、この「寛永宮本武蔵伝」では宮本武蔵と佐々木岸柳の物語だということに驚いた。ちなみに、「北野」の由来は、「杉野十佐一」の家の北にあるから「北野」と名乗ったのだと、草兵さんの奥さんから先日聞かされて初めて知った。亡くなってから、知ることのほうが多いなあ（笑）◆Sin

おかげょうき川柳社 作品募集案内

□ 2023.10.11 ㄨ 「川柳吟行会 ぼ」10月句会

【投句締切】10月11日（第2水曜日）【題・投句数】『叩く』2句【投句・問合せ】toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛 \*それぞれの地で一人吟行して作句し投句願います。参加者全員による選・選評をメールで交換。入選句・選評等は後日月刊おかげょうきに掲載。メール交換できる方であれば、おかげょうき会員以外でも参加可。年会費1,000円。

□ 2023.10.20 おかげょうき会員雑詠集「無人駅」5句（12月号分）

【締切】10月20日15時必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句（最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入）【掲載】12/10発行号【ウェブサイトからの投句】http://www.okajoki.com/toku/mujineki.html【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛

□ 2023.11.04 おかげょうき川柳社本社11月句会

【時】11月4日（土）午後1時～【所】アウガ5階小会議室【投句締切】11月3日（金）15時【宿題】（各題3句詠）『挟む』/『古』/『自由詠』【席題】1題3句詠・2人共選。選者は当日の参加者より選出【川柳ラボ】互選句『生きがい』1句【ウェブサイトからの投句】http://www.okajoki.com/toku/【メールで直接送信投句】moriko@okajoki.com（守田啓子）

□ 2023.11.08 ㄨ 「川柳吟行会 ぼ」11月句会

【投句締切】11月8日（第2水曜日）【題・投句数】『走る』2句【投句・問合せ】toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛 \*それぞれの地で一人吟行して作句し投句願います。参加者全員による選・選評をメールで交換。入選句・選評等は後日月刊おかげょうきに掲載。メール交換できる方であれば、おかげょうき会員以外でも参加可。年会費1,000円。

□ 2023.11.20 おかげょうき会員雑詠集「無人駅」5句（1月号分）

【締切】11月20日15時必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句（最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入）【掲載】1/10発行号【ウェブサイトからの投句】http://www.okajoki.com/toku/mujineki.html【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛



